

大刀洗町住民協議会

大刀洗町住民協議会とは

町の様々な課題を行政任せにせず、町民が「自分事」として、解決策や税金の有効な活用方法を考え、意見するための取り組みです。

課題の現状を知り、意見を出し合うことで、町民の意見の行政への反映や、意見が違う町民同士の相互理解を進めます。

住民協議会の参加者と役割

住民協議会委員（無作為抽出で選ばれた住民）

住民協議会委員（無作為抽出で選ばれた住民）

各テーマについて、住民（納税者、利用者）として改善点（行政と住民の役割分担などを考え、「改善提案シート」に自分の意見をまとめる。

多くの町民が町の課題や税金の使い方を「自分事」として考え、意見するために、委員は「無作為抽出」で選ぶ。

身分は、町非常勤特別職として任命。

分会長（住民協議会委員より選出）

議論の前に、テーマ全体についてのコメント。また最後に総括的なコメントをする。

コーディネーター（進行役：民間シンクタンク）

各テーマで議論すべきポイント（論点）の提示、住民協議会委員の議論の進行役および論点整理を行う。

ナビゲーター（解説および議論のリード役：民間シンクタンク）

住民協議会委員が議論を行う際のサポート役。議論をするにあたって必要な事実関係を行政の説明者から聞き出したり、考え方の視点の提供を行う。

テーマ関係事業担当職員（大刀洗町）

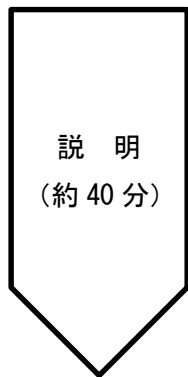
テーマについて、その目的や具体的な取り組み状況などを住民協議会委員に説明する。

住民協議会委員が議論を行う際には、委員やナビゲーターからの質問に答える。

テーマと議論の流れ

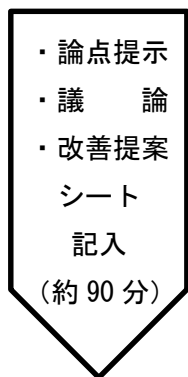
テーマ：「〇〇〇について」

<議論の流れ>



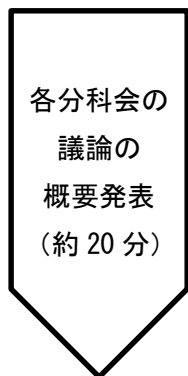
<全体会場>

- ・テーマを担当する課の職員が、今回追加する資料に関する説明をする。
→適宜、コーディネーター、ナビゲーターから補足や質問を行う。



<分科会>

- ・コーディネーターからの論点提示をもとに委員間で議論を行う。
- ・コーディネーターが進行を行い、委員等からの質問等に対して、適宜ナビゲーターと職員が発言を行う。
- ・各委員が、改善提案シートにテーマに関する課題、その改善提案を記載する。改善提案シートは回収し整理した上で、最終的には首長に提出をする。



<全体会場>

- ・議論した論点や主な意見などについて、各分会長から発表及びコーディネーターからの補足、各委員からのコメント。